

第53回 学術講演会（ファジィフロント）のお知らせ

日本知能情報ファジィ学会関東支部では、下記の通り、理学療法における工学の必要性をめぐる学術講演会を開催いたします。どなたでも自由に参加できますので、お誘い合わせの上、直接会場までお越し下さい。

■テーマ：『理学療法と必要とされる工学』

理学療法において積極的に工学が適用されることはあまり多くありません。しかしながら理学療法の分野においては、リハビリを行うための補助装置や、リハビリの効果に対する客観的な評価手法など、工学の適用が期待されています。

そこで本学術講演会では、新田先生をお招きし、理学療法および工学に期待することを述べていただきます。また、ご講演の後、新田先生の実験室にて研究の紹介、測定の実演を行います。理学療法の視点、そして工学の視点から活発なディスカッションを行いたいと考えております。

■主催：日本知能情報ファジィ学会関東支部

■日時：平成18年01月18日（水）14：00～16：00

場所：首都大学東京 荒川キャンパス 382 教室

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10

都営荒川線「熊野前駅」駅下車徒歩3分

http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/index.html#03

■参加費：無料

■スケジュール：

14：00～15：00 理学療法と必要とされる工学

新田 収（首都大学東京）

15：00～16：00 実験室紹介およびデモなど

新田 収（首都大学東京）

■講演者紹介：

氏 名：新田 収

所属・職名：理学療法学科 教授

最終学歴：日本大学大学院理工学研究科 医療・福祉工学 博士後期課程修了(1997)

学位：博士（工学）（日本大学1997）

国家資格：理学療法士免許（1986）

主たる職歴：東京都府中療育センター(1986-)、東京都立医療技術短期大学 助手(1995-)、同専任講師（1996-）、東京都立保健科学大学（元東京都立医療技術短期大学）助教授（1999-）、首都大学東京 健康福祉学部 理学療法学科 教授(2005)

担当授業科目：小児理学療法学、筋・骨格系理学療法学、物理療法学、基礎理学療法学

研究分野：脳性麻痺に代表される発達障害児（者）に対する機能評価の方法、およびリハビリテーションプログラム、障害児（者）に対する介護負担の研究、障害児（者）に対する環境整備のあり方についての研究、福祉用具の開発研究、運動の解析方法研究、運動中の筋電図解析方法の研究、大都市在住障害者および高齢者における災害対策について。

主要論文・著書：

1)重症心身障害成人に対する環境整備の類型化、日本建築学会計画系論文集 No.492,135～141,1997.

- 2) 重症心身障害成人における関節可動域制限および脊柱側彎に関するクラスター分析, リハビリテーション医学 Vol.134(5).342～.345,1997.
- 3) 脳性麻痺における寝返り動作の類型化, 東京保健科学学会誌 vol1(1),103～106,1998.

■問合せ先

藤本泰成：(株) 複雑系応用技術研究所
e-mail: y.fujimoto@riccx.com
Tel/Fax:045-212-1290

山口太郎：ダイダン株式会社
e-mail: yamaguchitaro@daidan.co.jp
Tel:0492-58-1511/ Fax: 0492-58-7601

吉田真一：青山学院大学 情報科学研究センター
e-mail: yoshida@irc.aoyama.ac.jp
Tel:042-759-6063/ Fax: 042-759-6064